久喜市シルバー人材センター入会希望者説明会

	日程	時間	場所
①	12/3㈬	14:00～15:30	ふれあいセンター久喜 会議室1
②	12/5㈮	10:00～11:30	栗 第1・2会議室
③	1/8㈭	10:00～11:30	菖 第1集会室
④	1/9㈮	14:00～15:30	鷲宮中央コミュニティセンター 会議室2

対 60歳以上の市内在住者
定 ①③④20人、②14人（申込順）
申問 同センター ☎47-0237

難病カフェクリスマススペシャル

日 12月20日㈯ 14時～16時
場 ふれあいセンター久喜 会議室4・5
内 クリスマスツリーの飾り付けやゲーム等のレクリエーション、ケーキの提供
※この事業は「地域歳末助け合い募金」を活用しています。
※マスク着用と手指消毒にご協力ください。
対 難病患者、そのご家族やお友達など
定 17人（申込順）
費 100円
申問 12月17日㈬までに、直接、障がい者福祉課障がい者福祉係（内線3245）またはメール・電話で、難病患者団体セルフヘルプグループたんぽぽ 鈴木（✉nannbyou.kuki@gmail.com／☎090-2423-1163）へ

もの忘れ相談

日 1月13日㈫ 9時15分、10時30分（各45分）
場 菖蒲行政センター 第2・3集会室
内 個別相談と認知症簡易チェック（簡易チェックは希望者のみ）
対 65歳以上の市内在住者で、もの忘れで医療機関に通院していない方、その家族
定 各2人（申込順）
申問 12月9日㈫～1月8日㈭に、菖蒲地域包括支援センター（☎85-8131）へ

いきいき温泉久喜の催し

◆健康体操
日 12月17日㈬ 10時30分～11時30分
◆パドル健康体操
日 12月24日㈬ 10時～11時
【利用証交換のご案内】
お持ちの利用証の有効期限が令和8年3月31日となっている方は、有効期限を3年延長した利用証と交換します。次の交換場所にて手続きをお願いします。

交換期間	交換場所
1/13㈫～4/3㈮	いきいき温泉久喜
4/6㈪～	高齢者福祉課

持 利用証
問 いきいき温泉久喜 ☎22-7933

オレンジカフェ（認知症カフェ）

認知症について、ゆっくりおしゃべりしたり、専門家に相談できます。

	日程	時間	場所
①	1/15㈭	13:30～15:00	菖 第3集会室
②	1/20㈫	14:00～15:30	在宅ケアセンターきらら
③	1/21㈬	9:30～11:00	久喜中央コミュニティセンター 会議室5

問 ①菖蒲地域包括支援センター ☎85-8131／②栗橋地域包括支援センター ☎52-7835／③高齢者福祉課地域包括支援係（内線3274）

体を動かして脳を活性化！～いきいき！脳活倶楽部～

日 1月21日㈬ 9時30分～11時
場 久喜中央コミュニティセンター会議室
内 座りながらの体操、指先を使った脳トレ、座談会 ※個別相談も可
対 市内在住で、もの忘れなど気になることがある方
定 15人（申込順）
申問 12月9日㈫～1月9日㈮に、高齢者福祉課地域包括支援係（内線3273・3274）へ

認知症のある方の集いの場～久喜カフェ・チェリッシュ～

日 1月21日㈬ 9時30分～11時
場 久喜中央コミュニティセンター会議室
内 カフェタイム（座談会）、体操など
※専門家への個別相談も可
対 市内在住で、認知症のある方・疑いのある方とその家族
問 高齢者福祉課地域包括支援係（内線3274）

認知症高齢者声かけ模擬訓練 in 久喜

日 1月16日㈮ 13時30分～16時
場 市役所 会議室棟 第4～6会議室
内 認知症に関する講義、声かけ模擬訓練、意見交換等
対 市民、認知症サポーター
定 30人（申込順）
申問 12月9日㈫から、電子申請・直接・電話で、高齢者福祉課地域包括支援係（内線3274）へ

手話を覚えよう！

身近な言葉を覚えて手話で話してみよう！

今月の言葉は
「クリスマス・お正月・冬休み・試験・プレゼント」
です。

YouTube動画は▼こちらから

問 障がい者福祉課障がい者福祉係（内線3243）

連載 久喜歴史だより（第167回）
写生旅行で描かれた「雪の栗橋」と「利根川の一夜」

小林が描いた房川渡し（『画行脚』収録、個人蔵）

風景を実際に見て絵を描くことを目的とした写生旅行（またはスケッチ旅行）は、明治30年代から主に洋画家の間で広く行われました。画家達は旅行先で風景画を描くのみならず、土地の風俗や旅のエピソードなどを書き残し、美術雑誌等に紀行文として掲載しました。

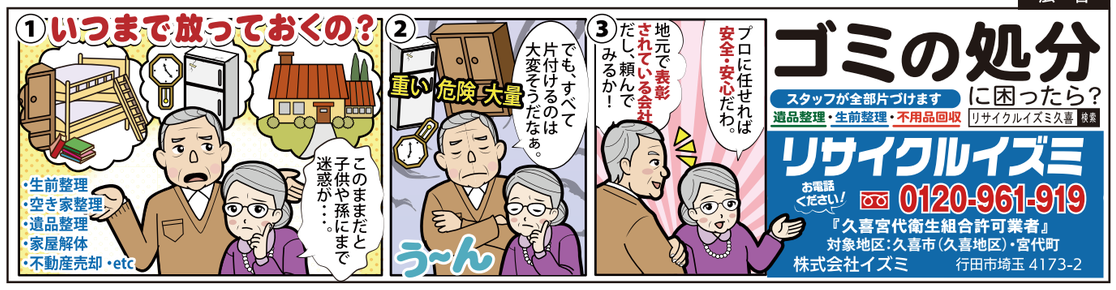
明治期を代表する洋画家の一人で、田山花袋の小説「蒲団」のロ絵を担当したことでも知られる小林鍾吉（1877～1946）は、明治41年（1908）に出版した『画行脚』で、栗橋を訪問した様子を「雪の栗橋」と題し紀行文と挿絵で紹介しています。小林は利根川沿いで雪の風景を描くために上野から鉄道列車で栗橋へ向かい、川魚料理屋兼旅館として知られた稲荷屋や栗橋関所の跡地などを訪れます。小林は稲荷屋の2階から見た利根川を「藍墨の様な大河」と表現し、辺りが雪で白一色の中、音もたてず流れる利根川の雄大さを伝えています。

また、当時の栗橋地区では、利根川の流れを利用した舟や蒸気船が主要な交通手段として利用されており、小林もこれらに乗船しています。四方を河川に囲まれている当地区には複数の渡船場があり、船頭が人や荷馬などを運ぶ役割を担っていました。小林は、栗橋と利根川対岸の中田（現茨城県古河市）間を結ぶ「房川渡し」で白い馬を連れた馬子と居合わせており、付近に建つガス燈とともにその光景をスケッチしています。さらに、栗橋は内国通運会社（現日本通運㈱）の蒸気船「通運丸」の寄港地の一つでした。通運丸は明治10年（1877）から就航され、利根川をはじめ関東各地の河川沿いの地域を繋いでいました。小林が乗船した船内には若い学生や農家の高齢男性、工場勤めの少女などが乗り込んでおり、老若男女問わず多くの乗客で活気にあふれた光景を伝えています（同書「利根川の一夜」）。

小林が描き出した栗橋での体験は、利根川とともに生きる栗橋の人々の姿を現代に伝えています。

問 文化振興課文化財・歴史資料係（鷲 内線364）

広告



広告

ガス給湯器
石油給湯器
エコキュート
便器・ウォシュレット
水まわりの修理・取替工事
ホームページ https://www.234126.jp
クレジットカード・QR決済使えます
水栓・シャワー
配管修理取替
システムバス キッチン
久喜市北青柳1236-1
建設業許可（般-5）第62310号
定休日　日曜、祝日、第2・4土曜
株式会社 カキヌマ
水道、下水道、久喜市指定工事店
0480(23)4126